

## 指導と評価の年間計画（書道Ⅰ）

岐阜県立土岐紅陵高等学校

科目	書道Ⅰ	学年	1	指導クラス	1～3		
単位数	2	使用教科書	東書 書道Ⅰ	副教材・問題集等			

### 1. 科目の目標

書道の幅広い創造活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。(2)書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。(3)主体的に書の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

### 2. 評価の観点の趣旨

知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組み態度 c
・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品の書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・書の伝統と文化と豊かに関り主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

### 3. 指導及び評価計画

月	題材	指導項目	予定時間	主な学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	書写から書道へ	ガイダンス（書の美しさと書の学習）用具・用法・姿勢・執筆法・表現の広がり	6	・書とは何か ・墨と紙の調和 ・授業の心構えの確認 ・用具、用法の基礎的な知識及び執筆法、運筆法を理解させ、筆の力学的な特性を体得させる。	・アンケート ・行動観察	○		
5	楷書	高校生活の目標	2	・主体的に書こうとする姿勢を身に付ける。	・ <input checked="" type="checkbox"/> 行動観察		○	○
6	自書告身 牛欄造像記禪義科下阜 他 ・画材や表現方法の違いで作品の印象が変わることを感じさせる。		11	・結構及び特徴の異なる古典を比較、分析しながら臨書させる。 ・三つの楷書の中で好きな書風、漢字二文字を選び、臨書させる。	・行動観察 ・作品	○		
7	篆刻	五分姓名印	6	・姓名印の制作を通して、基本的な刻法を学ばせる。	・作品	○	○	
8	刻字							
9	草書	蘭亭序	6	・書体の違いと各々の特徴について知る。	・ <input checked="" type="checkbox"/> 行動観察			
10	隸書	風信帖	5	・基本的な用筆法を学ぶ。	・ <input checked="" type="checkbox"/> 作品	○	○	
	篆書 行書		6	・行書の古典を鑑賞し、律動美をとらえる。 ・臨書した全文を半切に制作する。				
11	創作	行草よる創作	7	・課題漢字一文字を自由に創作させる。	・行動観察 ・作品	○	○	○
12	生活の中の書	年賀状	5	・楽しく味わいのある年賀状を工夫させる。	・作品			
		熨斗袋	3	・小筆を用いた実用書を学ばせる。	・行動観察		○	○
1	仮名	単体、連綿 変体仮名 百人一首	5 5	・いろは歌の字源を理解させ流麗な字形をとらえる。 ・散らし書きの美を理解する。	・作品		○	○
		漢字仮名交じりの書	3	・漢字仮名交じりの書を鑑賞して、生活の中の書との関わりについて考えさせる。 ・様々な表現方法を体験させ、身近な素材で工夫させて制作する。	・作品 ・行動観察		○	○
			70					